

酒々井小学校

所在地 酒々井203番地
電話 496-1041
開校 明治41年
校長 吉村 忠広（令和4年度就任）

児童数	419人 [5月1日現在]
学級数	19（特6含む）学級
職員数	48人



人権集会の風景

●学校経営の概要

【学校教育目標】

人間尊重の精神に徹し、豊かな人間性と健やかな心身を持つ実践力のある子どもの育成

【めざす児童像】 「し」んせつな子 「す」なおな子 「い」っしょうけんめいがんばる子

【3つの「あ」の約束】「あ」いさつができる 「あ」りがとうが言える 「あ」んぜんに住生活できる

【アクション①】「親切な子ども」の育成

- 人権・同和教育の推進
 - ・毎日の授業での人権教育の推進
- ふれあい(縦割り)活動の充実
 - ・自己肯定感、自己有用感の育成
- 特別の教科「道徳」の充実
 - ・考える道徳 ・議論する道徳
- 美しい学校づくり（ボランティア活動の推進）
 - ・花のある学校 ・掃除が行き届いた学校

【アクション②】「素直な子ども」の育成

- 自己指導能力の育成（全教職員の共通理解に基づいた生徒指導の推進）
- いじめ根絶（SNS等によるいじめを含む）への取組強化
- 教育相談活動の推進（生徒指導委員会の充実、担任による教育相談活動の推進）
- 児童虐待・ヤングケアラーに係る気づき及び対応の強化
- スクールカウンセラーの活用と連携
- 適切な合理的配慮の提供と特別支援教育の推進（校内委員会・ケース会議の充実）
- 自分の命を自分で守る安全指導の充実
- 児童を主体とした特別活動の推進
 - ・3つの「あ」の約束、町連携5項目（あいさつ・時間・そうじ・聞く・話す）の推進

【アクション③】「一生懸命がんばる子ども」の育成

- 基礎学力の向上
- 「令和の日本型学校教育」（個別最適・協働的な学び）による「主体的・対話的で深い学び」を意図した授業改善（校内研修＜算数科＞を中心に）

- 1人1台端末の効果的活用の推進
- 酒々井学の授業の充実
- 外国語・外国語活動の充実
 - ・専科教員・ALTとの連携、英検の活用
- 家庭学習の充実
 - ・(学年×10分)に向けての取組推進
- 汗をかく体育の実践
- 体育カードの充実
 - ・縄跳びカード、マラソンカード等
- 課外陸上練習の充実
- 朝の歌活動の充実
- 課外器楽練習の推進
- 小中交流音楽会の実施
- オータムコンサートへの参加
- すばらしい歌声が響く卒業式の実施



器楽部の演奏会

●学校の特徴

- (1) 異学年交流「ふれあい活動」により望ましい人間関係を育成する。1年生から6年生までの異学年グループを作って、一緒に遊ぶ等の活動を行い、自己肯定感の涵養に努める。
- (2) 児童一人一人の努力とやる気を引き出せるよう、平素から授業改善に努めている。「主体的・対話的で深い学び」の実現を実態に応じて全学年で取り組み、基礎学力の定着に努める。高学年では一部教科担任制を導入し、専門性も高める。中学年では、算数専科教員による質の高い授業を展開する。低学年では、町学習指導等専門支援員を活用した、個に応じた授業を展開する。
- (3) 共感的な人間関係の中で授業を行い、自己決定の場を可能な限り設けることで自己有用感の育成に努める。
- (4) 地域学校協働本部運営委員会を中心に、家庭・地域社会との連携を緊密にして豊かな体験活動を実現する。本の読み聞かせや生活科の学習（トマトの苗植え）、総合的な学習の時間における地域学習（ハーブ学習、米作り・収穫祭、園芸委員会の活動等）で保護者や地域のボランティアが教育活動に協力・参加いただける体制づくりに努める。
- (5) 学校周囲には文化財や豊かな森等があり、生活科や社会科、総合的な学習の時間における絶好の学習材料となっている。これらを「酒々井学」の教材として取り上げ、郷土愛の育成に努める。
- (6) 専科教員・ALT・担任の複数指導者による英語科授業等に取り組み、グローバル社会へ対応できる児童の育成に努める。
- (7) 運動部・器楽部の課外活動を行い、一人一人の児童の様々な可能性を追求しつつ、生涯学習の基盤となる資質・能力の育成に努める。